

第3回宇和島市こども防災キャンプ

12月号

キャリアッジ新聞



令和5年10月14日(土)・15日(日)

宇和島市PTA連合会主催の「宇和島市こども防災キャンプ」が開催された。参加者は、小学生40名、中学生5名、保護者6名。

自衛隊のジープ体験や、地方局建設課の「ダム仕組みと役割」・子ども食堂の炊き出し・宇和島東高・南校の「防災クイズ」その他盛り沢山。当センターは、「災害時のトイレ活用」について話をした。『皆さん、ご飯とトイレどちらを我慢できますか?』という問いかけに、元気よく『ご飯』と応えていた。災害時、食べ物や水の確保に気を取られがちだが、食べて飲むとトイレに行きたくなる。実は、トイレ環境を整えることが大切となる。

災害時に、自宅のトイレを災害用トイレとして利用する方法を子どもたちに実践してもらった。凝固剤・新聞紙・ペットシートをそれぞれ袋の中に入れ、尿に見立てた水を入れどうなるかを見てもらった。

子どもたちは結果を確かめ、家に帰ったら用意してもらうと話していた。段ボールトイレなどの座り心地も確かめていた。子どもたちが各家庭に持ち帰り防災の輪が広がってくれると私たちも嬉しいのです。



吉田中学校職場体験



令和5年10月5日(木)・6日(金)

吉田中学校の生徒さん3名が、センターに職場体験に。

まずは「NPOとはなんなのか?」「NPOセンターは何をしているところなのか?」の説明をし、その後近々あるイベント用に、NPO団体さんのパネルを作成してもらった。綺麗な色使いと、宇和島らしいパネルが出来上がった。

茶話会

毎月第4(木)

令和5年10月26日(木)

「茶話会」

津島町で移動子ども食堂「てくてく」を運営している木村さんに『ハンドマッサー』をお願いしました。



初めての方もいて「気持ちがいい」「人の手の温もりが嬉しい」と大変喜んでもらった。「また来月ね」という声が嬉しい。

プチ防災講座

令和5年10月11日(水)



玉津地区のサロンに呼んでいただき、防災カードゲーム『なまずの学校』を実施。災害時、自分の持っているアイテムをどう使うかを2人で相談しながら高得点を目指し一生懸命考えていた。ゲームを楽しみながら学んでいけるのがいいと言ってもらった。



うわじま文化会議

団体紹介



NPOまっつりの様子

また、第1回・第2回ともに「NPOまっつり」に参加いただき、作家の立花の太郎氏のライブで盛り上げてくださった。



当センターのホームページに、その他の活動についても紹介させていただいております。ぜひ、ご覧ください。

命を守る・暮らしを守る

～衣・食・住 それぞれの役割について語ろう！～



令和5年11月10日(金)

「第2回牛鬼ワークショップ」を開催。

『命を守る・暮らしを守る』をテーマに、前回は『支援者のためのメンタルケア』について学んだ。

今回は実際に被災された方の生の声を聞かせていただき「発災時どのような状況だったのか」「避難所での生活はどうだったのか」写真や映像を見ながら話してもらった。中には、あの日思い出して涙ぐまれる方もいた。当時の映像は想像を絶するもので思わず目を覆いたくなるようなものだった。実際に体験した方にしか伝えることができない貴重な話を聞くことができた。

その後『衣・食・住それぞれの役割について』テーブルに分かれ、興味のある分野に参加者が移動する形をとった。災害時といえば「食事の確保や水の確保」「住まいの心配」が浮かぶが、東日本大震災で衣服を持たず避難した方もいて『衣』の部分の重要性に気づけた。参加者からも「今後は、衣類の備蓄も必要」との意見が出ていた。

第1回、第2回の内容も振り返りながら、今後取り上げてほしいテーマなども聞くことができたので、参考にしながら第3回を開催したいと考えている。

River Cleaning



令和5年11月25日(出)
地域の方と吉田高校生徒・先生・奥南地区から家族で生活環境課の方々・宇和島市副市長。沢山の参加があり、過去最高にキレイになった。川をキレイにすることで、缶や瓶の投げ捨てが減ったように感じる。

約2時間の活動で、草ゴミ270袋、瓶缶等1袋を回収した。今後も継続して活動していこうと思う。

※愛媛県『愛リバー・サポーター制度』を活用しています。



※本事業は「Yahoo! 基金 2022年度被災地復興調査助成」を活用しています



防災カードゲーム
なまずの学校



センターのアピールも
できました！



防災とボランティアのフェスティバル
香川県サポーター高松

令和5年11月18日(出)

【防災とボランティアのフェスティバル】

発災しても住民が「最後まで頑張れる・やり切れる」そんなボランティア力を高める日常の繋がりを深めることを目的とし開催された。約30団体が参加出展し、当センターは、子どもから高齢者まで参加でき、楽しみながら学ぶことができる防災カードゲーム『なまずの学校』を実施。

参加してくれた方には、100円均一で揃う防災グッズをプレゼントすると、非常用持ち出し袋についての相談などもあった。

講演会では、東日本大震災被災地からは、講師に「笑顔広がれプロジェクトの高橋ひろみさん」が。宇和島市からは、岡原文彰市長が『西日本豪雨の体験から』を話してくださいました。市長の話聞き、「大変な災害だったのですね」と、知ってもらったきっかけになった。

令和5年11月26日(日)

【奥南地区防災フェスティバル】

朝、7時過ぎに始まった避難訓練。第1避難場所へサイレン後に各地区で避難。そして、2次避難場所の奥南小学校へ。子ども達は保護者と一緒に、地域の方も奥南小学校へ避難。その後、当センターによるエゴゲーム（避難所運営ゲーム）を各地区ごとに分かれて行った。子ども達も地域の方と同じ班だったため、相談しながら考えていた。少し小学生には難しいように感じたが、それでも避難してきた方や、トイレの設置場所、支援物資の受け入れなど一生懸命取り組み解決しようとする姿が頼もしい。